

岡山縣社寺兵士要

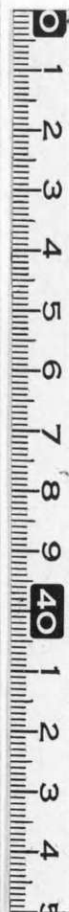
14.4

1000

14. 4-1000



1200501209637



始



昭和五年四月

岡山縣社寺兵事概要

內務省
56-3
正本

岡山縣學務部

604753
14.4-1000

岡山縣社寺兵事概要

目次

第一章	總說	1
第二章	岡山縣々勢ノ大要	1
第三章	岡山縣沿革ノ大要	1
第四章	町村數世帯數人口面積調	1
第五章	社寺宗教	1
第六章	神社	1
第七章	神社々格別調	1
第八章	神職數調	1
第九章	神饌幣帛料供進指定神社數調	1
第十章	官國幣社並縣社鎮座地、祭神、祭日調	1
第十一章	官國幣社收支決算並基本財産調	1
第十二章	縣社以下神社收支決算調	1
第十三章	官祭招魂社	1
第十四章	岡山縣神職會	1
第十五章	寺院	1



第三章 兵 教

第一	壯丁人員調	三九
第二	令第七條志願調	三九
第三	壯丁ノ體格狀況	四〇
第四	壯丁身長體重調	四二
第五	壯丁トラホーム 花柳病患者調	四四
第六	所在不明ノ爲徵兵處分未濟者調	四五
第七	短期現役兵身體檢査成績	四七
第八	海軍志願兵檢査成績	四九
第九	在郷軍人會員調	五〇
第四章	國 寶	五二

岡山縣社寺兵事概要

第一章 總 說

第一 岡山縣々勢ノ大要

岡山縣ハ山陽道ノ中央ニ位シ備前、備中、美作ノ三國ニ亙リ北緯三十四度二十五分ヨリ三十五度二十分ニ至ル東經百三十三度十六分ニ起リ百三十四度二十四分ニ至ル、東ハ兵庫縣ノ播磨ニ界シ西ハ廣島縣ノ備後ニ隣シ、北ハ鳥取縣ノ因幡、伯耆ニ接シ、南ハ瀬戸内海ヲ隔テ香川縣ノ讃岐ト相對ス、東西一六・二杆餘南北一五・六杆餘周圍九八・四杆餘ニシテ面積七〇一七六九二五平方杆餘ナリ

地形畧方形ニシテ北方ニハ陰陽ノ分水嶺タル中國山脈東西ニ走り那岐、泉、森ノ高山起伏シ其ノ餘脈蜿蜒トシテ南下シ更ニ分レテ二脈トナリ東シテ龍天、熊等ノ諸山トナリ西シテハ鷄足、太平等ノ諸嶺ヲ起シ餘脈南下シテ海ニ入ル所兒島ノ大半島トナル

此ノ東西二分脈ニ依リ包マレタル平地ハ實ニ本縣唯一ノ曠野ニシテ沃野遠ク連リ海ニ至リテ盡ク地勢既ニ北ニ高山ヲ控ヘ其支脈北南ニ至ルヲ以テ諸川皆其源ヲ北ニ發シ南流シテ海ニ入ル中ニ三大川ト稱スルアリ曰ク吉井川曰ク旭川曰ク高梁川之レナリ吉井川ハ源ヲ美作ノ北境ニ發シ加茂吉野等ノ諸流ヲ合セ備前ノ東部ニ出デ南流シテ海ニ入ル旭川亦作北ニ發源シ新庄、備中等ノ諸流ヲ併セ備前ノ西部ヲ南下シ兒島灣ニ注グ而シテ美作ノ市街地タル津山市ハ吉井川ノ上流ニ枕シ池田家ノ居城地タリシ岡山市ハ旭川ノ下流ニ跨レリ高梁川ハ源ヲ備中ノ北部ニ發シ成羽、小田ノ小流ヲ合セ南流シテ水島灣ニ入ル高梁町ハ此ノ中流ニ臨ミ縣下ノ名邑ナ

リ
是等山川ノ形勢ニヨリ縣治上三國ヲ分チテ三市十九郡トナス而シテ岡山市ハ備前ノ南方ニ位シ縣治機關茲ニ在リ
本縣ハ南方ニ瀨戸内海ヲ控ヘタルヲ以テ島嶼亦多ク呼應遠近煙波漂渺ノ間ニ隱顯シ鹿久居島外十數島アリ海岸線七二杆ヲ有ス港灣ハ備前ニ日生、牛窓、宇野、日比、下津井、備中ニ玉島、寄島、笠岡等ノ諸港アリ何レモ瀨戸内海ニ頻シ交通運輸至便ナリ兒島灣ハ縣下ノ名灣ナレドモ水淺クシテ船舶ノ碇泊ニ適スル良港ヲ有セズ

行政上ノ區劃ハ左ノ如シ

備前ニ岡山、御津、赤磐、邑久、上道、兒島（一市六郡）
備中ニ倉敷、都窪、淺口、小田、後月、吉備、上房、川上、阿哲（一市八郡）
美作ニ津山、眞庭、苫田、勝田、英田、久米（一市五郡）

第二 岡山縣沿革ノ大要

岡山縣ハ備前、備中、美作ノ三國ヲ管轄シ岡山ヲ以テ縣政統治ノ處トナス上古ハ三國一帯ノ地ヲ總稱シテ吉備ノ國ト曰フ
神武天皇乙卯歲三月東征シテ此ノ國ニ幸シ行宮ヲ高島ニ造リ蹕ヲ駐ムルコト三年ニシテ内禰ヲ修メ兵食ヲ蓄ヘ再ビ東征ノ師ヲ興シ撥亂反正ノ偉業ヲ舉グ萬世不易ノ皇基ヲ起シ給ヘリ崇神天皇ノ十年四道將軍ヲ置クニ方リ吉備津彥命此地方ヲ綏撫シ庶民久シク泰平ノ澤ヲ享ク次テ行政區劃ヲ定メテ五郡ヲ置キ天武天皇ノ御宇ニ吉備ノ國ヲ分ツテ備前、備中、備後ノ三トナス元明天皇ノ和銅六年ニ備前國ノ六郡ヲ割テ新ニ美作國ヲ置ク源平以後治亂相繼ギ文明ノ初ニ至リ三國大ニ亂ル備前ハ浦上松田兩氏ノ版圖ニ屬シ美作ハ浦上後藤兩氏ノ

領地トナル浦上氏ノ臣宇喜多氏起リ浦上松田兩氏ヲ滅シ備前ヲ畧シ又後藤氏ヲ滅シ美作ヲ畧ス此時ニ當リ出雲ノ尼子氏ハ美作ノ北部ヲ掠奪シ安藝ノ毛利氏ハ備中ヲ侵畧シテ之ヲ收ム尼子氏滅フニ及ビテ毛利氏ハ遂ニ美作ヲ併セ以テ宇喜多氏ニ抗ス天正年中宇喜多氏欸ヲ羽柴氏ニ通ズ毛利羽柴ノ兩氏相和スルニ及ビ三國悉ク宇喜多氏ノ有トナル關ヶ原ノ役宇喜多秀家敗績シテ其ノ封ヲ失ヒ小早川秀秋代テ之ヲ領ス慶長七年嗣ナクシテ國除カル全八年池田忠繼備前ニ森忠政美作ニ封セラル寛永九年忠繼卒シ嫡嗣光仲封ヲ因幡伯耆ノ二國ニ徙サルルニ及ビテ池田光政代リテ備前ヲ領ス備中ノ地ハ兩板倉氏（松山）關氏（新見）木下氏（足守）伊東氏（岡田）蔭田氏（淺尾）山崎氏（成羽）ニ分封セラル元祿年中森氏嗣ナクシテ國除カレ松平長矩代テ美作ヲ領ス明和元年三浦明次美作、勝山ニ封ゼラル慶應三年松平氏（石州濱田城主）ノ治所ヲ公父（久米郡）ニ移サルルニ至リ美作ノ地ハ遂ニ三諸侯ノ分治スル所トナル維新ノ後諸侯封土ヲ奉還スルニ及ビ備前ニ岡山藩ヲ置キ備中ニ足守、庭瀬、淺尾、成羽、岡田、鴨方、松山、生坂、新見ノ九藩ヲ置キ美作ニ津山、眞島、鶴田ノ三藩ヲ置キ舊藩主ヲ以テ各其ノ知事ニ任ス尋テ明治四年十一月藩ヲ廢シ備前ニ岡山縣ヲ置キ備中ニ小田縣ヲ美作ニ北條縣ヲ置ク後明治八年十二月小田縣ヲ全九年四月北條縣ヲ岡山縣ニ合併ス明治三十三年四月ニ至リ郡ノ分合ヲ行ヒ一市十九郡トス大正十五年七月一日郡役所ヲ廢止シ阿哲郡ニ阿哲支廳ヲ置ク昭和三年四月倉敷ニ昭和四年二月津山ニ各市制ヲ布キ三市十九郡トナル

第三 町村數世帶數人口面積調

郡市名	町		村	計	本籍人口	現		在	人	計	世帶數	面積
	町	村				男	女					
岡山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉敷市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

六

1 神社令 格別調

神社員數調

(昭和四年末現在)

窪島道久氣磐津敷山

[illegible]

神社數五千十三社ノ多キニ達スルモ神職數ハ僅ニ四百八十二名ニ過ギズ年々社司、社掌、試験ヲ行ヒ神職タルヘキ資格者ノ増加ニ努メツ、アリ現在神職數ヲ郡市別ニ示セバ左ノ如シ

神職員數調

(昭和四年末現在)

郡市名	岡倉御赤和邑上兒都淺小後吉上川阿真苦										宮幣中社	國幣中社	國幣小社	縣社	鄉社	村社	社掌	無格社	合計
	山敷	津磐	氣久	道島	窪口	月田	備房	上哲	庭田	田庭									
宮幣中社																			
國幣中社																			
國幣小社																			
縣社																			
鄉社																			
村社																			
社掌																			
無格社																			
合計	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

3 神饌幣帛料供進指定神社數調

明治三十九年縣社以下神社神饌幣帛料供進ニ關スル勅令發布以來縣、鄉、村社ノ内由緒ノ顯著ナルモノ或ハ多數ノ氏子ヲ有スル神社ニシテ其ノ設備完成シ且維持ノ方途確立セルモノヲ順次指定シ縣又ハ市町村ヨリ神饌幣帛料ヲ供進シツ、アルモ未タ指定標準ニ合致セサル爲之ヲ指定スルニ至ラザルモノアリ之等神社ニ對シテハ關係者ヲ督勵シ設備ノ整善、基本財産ノ造成ニ努メシメ可成多數ノ神社ニ神饌幣帛料ヲ供進スルコトヲ得シメムコトヲ期セリ

右指定神社數郡市別ニ示セバ左ノ如シ
幣饌指定神社員數調
(昭和四年末現在)

郡市名	縣	社	鄉	村	社	合	計
岡倉御赤							
山敷							
津磐							
氣久							
道島							
窪口							
月田							
備房							
上哲							
庭田							
田庭							
合計	10	1	1	1	1	1	1

計 山米田田庭哲上房備月田口窪島道久氣

	大	四	五	一	二	一	二	三	六	二	二	二	一	五	九	一〇	一	一	十
	大	四	五	一	二	一	二	三	六	二	二	二	一	五	九	一〇	一	一	十

圖 4009

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

10

官國幣社並縣社鎮座地祭神祭日調

鎮座地	社格	神社名	祭	神	祭	祈年祭	新嘗祭	日
吉備郡真金町	官幣中社	吉備津神社	大吉備津彦命 相殿 日子剌別命、倭飛羽矢若屋比賣命、千々速比賣命、倭迹々日百襲比賣命、御友別命、若日子健吉備津彦命、中津彦命、日子寤間		十月二日	十月七日	十一月十三日	
吉備郡一宮村	國幣中社	中山神社	鏡造神 相殿 天糖戸神、石凝姥神		四月二十四日	四月二十四日	十一月十三日	
邑久郡大宮村	國幣中社	安仁神社	五瀬命 相殿 稻水命、御毛沼命		十一月十一日	十一月十一日	十二月十三日	
岡山市石關町	縣社	岡山神社	倭迹々日百襲比賣命 相殿 日本武尊、大山咋命、大吉備津彦命、倉稻魂命、武安靈神、妹姫命		十月十四日	十月十五日	十一月二十四日	
同 小畑町	同	伊勢神社	天照大神 相殿 豐受大神、栲幡千姬命		十月十七日	十月十六日	十一月二十八日	
同 門田同	同	三勤神社	和氣清麿郷、楠正行朝臣、兒島高德、		十一月十一日	十一月十一日	十一月廿七日	

岡山市門田縣	社玉井宮宮	豐玉毘賣命、德川家康公 相殿 彦火々出見命、玉依毘賣命	二十五日 二月二十五日
同 七日市同	春日神社	天兒屋根命 相殿 武靈根命、姬大神 經津主命、菅原神	二十日 二月二十日
御津郡今村同	今村宮	天照大神、素盞鳴命 相殿 八幡大神、春日大神	十八日 二月十八日
御津郡一宮村國幣小社	吉備津彦神社	大吉備津彦命 相殿 大日本根子彦國率天皇、彦刺肩別命 稚日本根子彦太日天皇、稚武吉備津日子命 御間城入彦五十瓊殖天皇、吉備津彦命御祖神	二十二日 二月二十二日
赤磐郡山方村縣	社宗形神社	多紀理毘賣命、專島比賣命、田心比賣命 大己貴命、大日靈命、豐宇氣比女命 須佐之男命、菅原神、大山咋命 速玉男之命、伊邪那美命、事解男之命	十六日 四月十六日
和氣郡藤野村同	和氣神社	天鈿女命、鐸石別命、弟彥主命和氣清麿命 和氣廣蟲比賣命 相殿 應神天皇	二十一日 四月二十一日
上道郡沖田村同	沖田神社	天照大神、倉稻魂命、素盞鳴命、句々廼智命 軻遇純命	十一日 五月十一日
兒島郡琴浦町同	由加神社	手置帆負命、彥狹知命 大山津見命	廿三日 五月廿三日
倉敷市笹沖同	足高神社	相殿 石長比賣命、木花之佐久夜毘賣命	十九日 五月十九日

吉備郡總社町同	總社	大名持命、須世理姬命 相殿 神祇齋戶八柱大神	十九日 五月十九日
吉備郡岩田村同	鼓神社	高田姬命、樂々森彥命 吉備津彥命、天穗日命 大名持命、太玉命	二十五日 五月二十五日
上房郡高梁町同	八重難神社	伊賀守板倉勝重 周防守板倉重宗	二十四日 五月二十四日
同 高梁町同	八幡神社	應神天皇、仲哀天皇 神功皇后 相殿 天照大神、玉依姬命 仁德天皇、天兒屋根命	十五日 五月十五日
真庭郡新庄村同	御鳴神社	味鋌高彥根命、天御梶日女命 大己貴命、多紀理毘賣命 倉稻魂神、天若彥命 大山咋命、饒速日神 市杵島姬命、饒速日神	九日 五月九日
真庭郡湯原村同	形部神社	神阿多都姬命 合殿 佐波良神社、佐波良命 彦波限建鸕鷀草不合尊	九日 五月九日
津山市二宮同	高野神社	相殿 大己貴命、鏡作命	二十五日 五月二十五日
津山市院庄同	作樂神社	後醍醐天皇 相殿 備後三郎高德	二十四日 五月二十四日

津山市津山町同	德守神社	天照大日靈尊 相殿 國常立尊、伊弉諾尊、月讀尊、譽田別尊	二十三日 三十三日 月二十四日
津山市同町同	大隅神社	大己貴命、少彥名命	九日 日三十三日 月二十七日
津山市西苦田同	總社	大己貴命 相殿 鏡造命、鸕草葺不合命	十一日 日四十一日 月二十六日
勝田郡豐田村同	諸神社	伊弉諾尊、大國主命 須佐之男命、倉稻魂命 級長戸邊神、國常立神	十五日 日四十一日 月二十四日
英田郡河會村同	天石門別神社	天手力男命	二十五日 日四十六日 月二十五日
久米郡倭文東村同	貴布禰神社	高雷龍神、關雷龍神、玉依彥神、伊香賀色雄命 天棚機姫命、大己貴命、天己戸別命、天德日命 菅原道真、火之具土命、天津彥火杵命 相殿 高皇產靈尊、建角身命 天羽彥雄命、天津彥火杵命 品陀和氣命、倉稻魂神 神日本磐余尊、別雷神 品陀和氣命、倉稻魂神	十月 日四十一日 月二十九日
久米郡福渡町同	志呂神社	積羽八重言代主神 相殿 保食神、大己貴神 顯國玉神、品陀別命	十月 日四十一日 月三十日

上房郡吉川村同	八幡神社	應神天皇、猿田彥命、稚日女命、素戔鳴命 稻田姬命、大國主命、八千才命、屋船豐宇氣姬命 稗所四柱神、大山祇命、大物主命、崇德天皇 武內宿禰、天御中主尊、倉稻魂命、佐々森彥命 相殿 仲哀天皇、神功皇后	十月 日四十一日 月二十八日
和氣郡伊里村同	閑谷神社	池田光政朝臣、池田輝政卿、池田利隆朝臣	二十五日 日四十五日 月二十四日

5 官國幣社收支決算並基本財産調

各神社別收支決算並基本財産左ノ如シ

官國幣社收入支出決算額調

(昭和三年度)

科目	神社名	吉備津神社	中山神社	安仁神社	吉備津彦神社 (別格后)
一、國庫供進金		1,928,000	110,000	1,928,000	1,928,000
一、神饌幣帛料		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
一、社入金		11,228,000	1,128,000	11,228,000	1,128,000
賽物其ノ他收入		11,118,000	1,118,000	11,118,000	1,118,000
境内外地收入		11,000,000	1,000,000	11,000,000	1,000,000
雑收入		11,000,000	1,000,000	11,000,000	1,000,000
一、用途指定寄附金		11,000,000	1,000,000	11,000,000	1,000,000

合	計	計
秋季祭々典費資金	土地	計
現	金	地
計	計	計
2,110.00	2,110.00	2,110.00
0.10	0.10	0.10

一八

6 縣社以下神社收支決算調

縣社以下神社會計ニ關スル規則ハ縣社、郷社及神饌幣帛料供進指定ノ村社ニ之ヲ適用シ社入金決算額百分ノ五以上ヲ基本財産ニ積立シメ漸次神社ノ維持ヲ確守セシムル方針ナリ昭和三年度ニ於ケル社格別收支決算並同年度末基本財産額ヲ示セバ左ノ如シ

縣社以下神社收支決算額調

(昭和三年度)

科目	社格別	縣社 (二八社)	郷社 (一一一社)	村社 (四〇〇社)
一、神饌幣帛料	入	11,115.00	5,110.00	11,110.00
一、社入	金	11,115.00	11,110.00	11,110.00
賽物其他收入	入	11,110.00	11,110.00	11,110.00
境内外地收入	入	11,110.00	11,110.00	11,110.00
雜收入	入	11,110.00	11,110.00	11,110.00
一、基本財産ヨリ生スル收入	入	11,110.00	11,110.00	11,110.00

一、保管林收入	11,110.00
一、前年度繰越金	11,110.00
一、氏子崇敬者負擔金	11,110.00
一、補助金	11,110.00
一、寄附金	11,110.00
計	11,110.00

一、祭典及雜費	11,110.00
一、俸給費	11,110.00
一、境内外地諸費	11,110.00
一、保管林諸費	11,110.00
一、營繕費	11,110.00
一、基本財産造成費	11,110.00
一、營繕資金積立費	11,110.00
一、寄附金	11,110.00
一、社債	11,110.00
計	11,110.00

收支差引殘金

一、五六一

五、五五〇

一七、五二九

縣社以下神社基本財産調

(昭和三年度未現在)

社格別	種別	土地	有價證券	現金	計	營繕資金 (現金)	總計
縣社	(一)八社	八二、八九五	五三、一六八	三〇、六一七	一六五、六八〇	一	一六五、六八〇
郷社	(二)八社	三三、一三八	一三、三八六	一七、六六八	六三、一八二	七五	六一七、二五七
村社	(三)一社	九八、二一九	三三、八〇〇	二七、九八七	一、五九、〇〇〇	九四三	一、五九七、九四九
計	(四)〇〇社	一、四二四、三三四	五九、三五四	四三六、二七三	二、〇一〇、〇〇八	一、〇一〇	二、三〇〇、八八六

7 官祭招魂社

官祭招魂社ハ明治二年六月舊岡山藩主之ヲ岡山市門田字幣立山ニ創建シ大正四年四月同所宇奥市ニ移轉セリ
現境内一千五百二十七坪ニシテ本殿、拜殿、神饌所、奏樂殿、廻廊、社務所、倉庫ヲ具備シ戊辰戰役以來國
難ニ殉シタル將卒二千八百三十三柱ヲ祭祀ス大祭ハ毎年四月三十日ニシテ其ノ祭式左ノ如シ

官祭招魂社例祭式

當日早旦神職神殿ヲ裝飾シ祓所ヲ設ケ午前九時一同着席

此間奏樂

先祓詞ヲ奏ス

一同起立

其式

次壺水行事

次大麻行事

此間奏樂一同起立

次齋主御扉ヲ開ク

次神饌ヲ傳供ス

次齋主祝詞ヲ奏ス

次祭主(地方長官)祭文ヲ奏ス

次祭主玉串ヲ奉ル

次齋主玉串ヲ奉ル

次齋員拜禮

次岡山戎衛司令官玉串ヲ奉ル

次岡山市長玉串ヲ奉ル

次招魂社維持會理事長玉串ヲ奉ル

次岡山縣招魂祭委員長玉串ヲ奉ル

次池田候爵玉串ヲ奉ル

次遺族總代玉串ヲ奉ル

次將校、同相當官、在郷軍人、傷痍軍人、勅、奏任、判任官各總代玉串ヲ奉ル

次赤十字社員、愛國婦人會員、將校婦人會員、各總代、玉串ヲ奉ル

次舞樂

次玉串並神饌ヲ撤ス

次齋主御扉ヲ閉ツ

次各員退下

此間奏樂

此間奏樂一同起立

此間奏樂

岡山縣神職會ハ明治四十年六月九日ノ創立ニ係リ現在會員四百六十五名ヲ有ス斯道興隆ノ爲各般ノ事業ヲ行ヒ年ト共ニ發展ヲ遂ケツ、アリ會則及昭和三年度收支決算左ノ如シ

岡山縣神職會規則（大正十五年五月十四日改正）

第一章 目的

第一條 本會ハ神社行政ノ發展祭式及國典ノ講究並神職行務ノ督勵ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二章 名稱 位置

第二條 本會ハ岡山縣神職會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ岡山縣廳內ニ置キ支部ヲ各郡市ニ置ク

支部ハ其ノ所在地郡市名ヲ冠稱ス

第三章 組織

第四條 本會ハ本縣在住ノ神職ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事情アル郡市ハ支部規則ノ定ムル所ニ依リ神職以外ノ者ヲシテ特ニ會員タラシムルコトヲ得

第四章 職制

第五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

總理 一名 會長 一名 副會長 二名 參事 若干名

幹事 若干名 評議員 若干名 書記 若干名

第六條 總理ハ本縣知事ヲ載キ會長ハ主務ノ部長ヲ之ニ擬ス

副會長ノ内一名ハ主務ノ課長ヲ以テ之ニ擬シ一名ハ評議員會ニ於テ神職中ヨリ之ヲ選舉ス

參事ハ學識名望及斯道ニ經驗アル者ヨリ會長之ヲ囑託ス

幹事ハ主務ノ屬官及神職中ヨリ會長之ヲ囑託ス

評議員ハ各支部ニ於テ選定シ會長ニ報告スルモノトス

書記ハ會長之ヲ命免ス

第七條 支部ニ左ノ職員ヲ置ク

支部長 一名 幹事 若干名 評議員 若干名

第八條 支部長支部評議員各支部ニ屬スル會員中ヨリ支部ニ於テ之ヲ選定ス支部幹事ハ支部長之ヲ囑託ス

第九條 選舉シタル副會長及評議員ノ任期ハ四ケ年トス但シ滿期後再選ヲ妨ケス補缺ノ任期ハ前任者ノ殘期

間トス

第十條 總理ハ會務ヲ總理シ會長ハ會務ヲ統督ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十一條 參事ハ樞要ノ會務ヲ贊畫ス

第十二條 幹事ハ會長又ハ支部長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第十三條 削 除

第十四條 評議員ハ會長又ハ支部長ノ諮詢ニ應シ會務ヲ審議ス

第十五條 削 除

第十六條 書記ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十七條 會長ハ必要ニ應シ講師ヲ囑託シ國典及祭式ノ教授ヲ擔任セシム

本會ノ職員ハ總テ名譽職トス

幹事評議員ニハ實費辨償ヲ給ス

講師及書記ニハ手當ヲ給與ス

第十九條 評議員會ハ毎年一回之ヲ開ク但シ臨時會ヲ召集スルコトヲ得

總會ハ必要ヲ認メタル時之ヲ召集ス

參事及支部職員ハ評議會ノ議事ニ參與スルコトヲ得

第二十條 評議員會ハ會務ニ關シ會長ノ諮詢シタル事項ヲ審議ス

第二十一條 會議ハ總テ會長及支部長故障アルトキハ副會長又ハ幹事之ヲ代理ス

第二十二條 評議員會若ハ總會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルト
第二十三條 評議員會ハ議長ヲ除キ出席員過半數ニ滿タサレハ議決スルコトヲ得ス

第六章 會計

第二十四條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十五條 毎年度收入支出豫算ハ評議員會ノ議決ヲ經テ會長又ハ支部長之ヲ定ム

收入支出決算ハ毎年評議員會ニ報告スルモノトス

第二十六條 本會ノ經費ハ支部負擔トス支部ノ經費ハ支部限リ適宜之ヲ定ムルモノトス

第七章
雜則

第二十七條 祭式及國典講習ニ關スル規則其他本則施行ニ必要ナル細目ハ別ニ定ムル所ニ由ル

第二十七條ノ二 第七條第八條及第二十一條ニ依リ難キ特殊ノ事情アル郡市ハ支部規則ニ於テ特別ノ規定ヲ

設クルコトヲ得

第二十八條 支部規則ハ本規則ニ準據シ各支部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クルモノトス

支部規則設定並ニ變更ハ直チニ之ヲ會長ニ報告スヘシ

第二十九條 會員ニシテ本會ノ利害得喪ニ關シ意見アルトキハ會員十名以上ノ同意ヲ得テ會長ニ提出スルコ

トヲ得

第三十條 本規則ノ變更ヲ要スルトキハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ改正スルコトヲ得

附則

本規則改正ノ際現ニ支部長、支部幹事タル者ハ後任者就職迄支部評議員タル者ハ最近ノ定期改選期迄在任スルモノトス

岡山縣神職會收入支出決算

收入
(△印ハ減)

(昭和三年度)

二五

第一目 官國幣社寄贈金	1,000,000	1,000,000	—	縣內官國幣社寄贈金
第五款 繰越金	3,211,100	1,750,000	1,461,100	
第一項 前年度繰越金	3,211,100	1,750,000	1,461,100	
第六款 補助金	11,000,000	11,000,000	—	前年度繰越金
第一項 補助金	11,000,000	11,000,000	—	
計	15,211,100	22,750,000	7,538,900	縣費補助金

科	目	決本年額	豫算年額	増比	減較	備	考
第一款 事務所費	第一項 事務取扱費	4,500,000	4,500,000	—	—	—	
	第一目 俸給	8,750,000	8,750,000	—	—	—	
	第二目 雜給	3,500,000	3,500,000	—	—	—	
	第三目 旅費	2,750,000	2,750,000	—	—	—	
	第四目 賞與	2,110,000	1,000,000	1,110,000	—	—	
	第五目 通信費	50,000	50,000	—	—	—	
	第六目 印刷費	1,500,000	10,000	1,490,000	—	—	
	第七目 備品費	3,000,000	10,000	2,990,000	—	—	
	第八目 消耗品費	8,900,000	10,000	8,890,000	—	—	
	第九目 雜費	10,000	10,000	—	—	—	
第二款 會議費	第一項 會議費	2,200,000	2,200,000	—	—	—	

第一項 會議費	3,500,000	3,500,000	—	—	—	
第二項 評議員會費	1,500,000	1,500,000	—	—	—	
第三項 支部長會議費	1,000,000	1,000,000	—	—	—	
第三款 事業費	3,500,000	3,500,000	—	—	—	
第一項 神職養成講習費	2,000,000	2,000,000	—	—	—	
第二項 雜費	1,500,000	1,500,000	—	—	—	
第二項 現任神職講習費	1,000,000	1,000,000	—	—	—	
第一項 祭祀講習費	1,000,000	1,000,000	—	—	—	
第二項 實務研究費	1,000,000	1,000,000	—	—	—	
第三項 供進使作法講習費	1,000,000	1,000,000	—	—	—	
第一項 講師手當	20,000	20,000	—	—	—	
第四項 雅樂講習費	20,000	20,000	—	—	—	
第一項 講師手當	20,000	20,000	—	—	—	
第五項 獎勵費	20,000	20,000	—	—	—	
第一項 講習生補助費	20,000	20,000	—	—	—	
第六項 大藏經頒布事務費	20,000	20,000	—	—	—	
第一項 頒布式費	20,000	20,000	—	—	—	
第二項 事務費	20,000	20,000	—	—	—	
第三項 獎勵費	20,000	20,000	—	—	—	
第七項 神社調查費	20,000	20,000	—	—	—	
第一項 神社調查費	20,000	20,000	—	—	—	
第八項 印刷費	20,000	20,000	—	—	—	
第一項 印刷費	20,000	20,000	—	—	—	

二八

[illegible]

收入支出差引殘金貳千九百六拾四圓參拾壹錢

內譯

金貳千九百拾叁圓八拾貳錢

內 金八百五拾六圓九拾壹錢
金貳千五拾六圓九拾壹錢

金五拾圓四拾九錢

岡山縣神職會基金現在高

一	豫	翌	頒布事務費殘額翌年度へ繰越
般	備	年	
會	資	度	
計	金	へ	
殘	積	繰	
額	立	越	

(昭和三年度末日現在)

種別		現金	有價證券	摘要
前年越高	公債利子	三,四二〇,〇〇〇	三,四〇〇,〇〇〇	五分利公債利子
農工債券利子	三,三〇〇,〇〇〇		岡山縣農工債券利子	
預金利子	三,三〇〇,〇〇〇		銀行當座預金利子	
岡山縣農工債券償還金	六,六〇〇,〇〇〇		農工債券償還金	
計		三,三〇〇,〇〇〇		
拂岡山縣農工債券償還額面		三,三六〇,〇〇〇	三,三〇〇,〇〇〇	
計			三,三〇〇,〇〇〇	
現在	岡山縣農工銀行特約預金	二,五〇〇,〇〇〇		
全山	銀行特別當座預金	四四六,〇〇〇		
岡山	郵便局預納金	二〇,〇〇〇		
五分利公債證書		三,三六〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	約東郵便局納料金保證金トシテ預託 會報發行保證トシテ日本銀行ニ供託

岡山縣神職會資金管理規則

第一條 資金ノ種別左ノ如シ

一、基本財産

二、豫備資金

第二條

基本財産ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス
基本財産ヨリ生スル利子ハ之ヲ經費ニ充ツルコトヲ得

第三條

毎年度收入支出決算殘金（神宮大麻及曆頒布費ヲ除ク）ニ對シ左ノ割合ニ依リ算出シタル額ハ之ヲ豫備資金ニ積立ツヘシ

壹千圓迄 百分ノ十

貳千圓迄

壹千圓ニ對シテハ前號ノ割合
壹千圓ヲ超ユル金額ニ對シテハ百分ノ三十

參千圓迄

貳千圓ニ對シテハ前號ノ割合
貳千圓ヲ超ユル金額ニ對シテハ百分ノ五十

參千圓以上

參千圓ニ對シテハ前號ノ割合
參千圓ヲ超ユル金額ニ對シテハ百分ノ八十

第四條

豫備資金ハ之ヲ經費ニ充ツルコトヲ得

第五條

基本財産利子又ハ豫備資金ヲ經費ニ充用セムトスルトキハ當該年度收入支出豫算ヲ以テ評議員會ノ議決ヲ經ヘシ但シ毎年度收入支出豫算ニ定ムル經費ヲ支出スルニ當リ收入之ニ伴ハサル爲已ムヲ得サル場合ニ限り會長ニ於テ豫備資金ヲ一時經費ニ運用スルハ此ノ限ニアラス
前項但書ニ依リ豫備資金ヲ運用シタルトキハ當該年度收入金ヲ以テ之ヲ積戻スヘシ

第六條

資金ハ官公署ニ預託ヲ必要トスル場合ノ外之ヲ有價證券ト爲シ又ハ郵便官署若ハ評議員會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入スヘシ

第七條

毎年度資金收入支出及管理ノ狀況ハ之ヲ評議員會ニ報告スヘシ

附 則

從前ノ資金ハ之ヲ本令ノ規定ニ依ル基本財産トス豫備資金ハ昭和三年度以降ニ於ケル收入支出決算殘金ヨリ之ヲ積立ツルモノトス

第二 寺 院

縣下寺院ハ其ノ數千五百三ニシテ眞言宗最モ多ク天台、日蓮、曹洞、臨濟、之ニ亞ク其ノ著名ナルモノ岡山市内ニ於テ日蓮宗蓮昌寺、臨濟宗國清寺、又地方ニ於テハ天台宗ニ金山寺、眞言宗ニ觀音院、淨土宗ニ誕生寺、臨濟宗ニ寶福寺日蓮宗ニ妙覺寺等アリ
各郡市別寺院、住職數左ノ如シ

寺院員數調

（昭和四年末現在）

郡市名	天台宗	眞言宗	淨土宗	臨濟宗	曹洞宗	黃檗宗	眞宗	日蓮宗	合	計
岡 山	一八	三	一〇	一〇	一	一	一〇	一	一	八
倉 敷	二	六	一	一	一	一	一	一	一	一
御 津	六	三	一	一	一	一	一	一	一	一
赤 磐	一六	二	一	一	一	一	一	一	一	一

合	津	久	英	勝	苦
計	山	米	田	田	田
一六〇	四	一五	一	九	一〇
四八二	一三	二〇	一八	二〇	三二
六四	四	一	一	一	三
一四七	一	五	一	一	二
三二	三	三	一	一	一
八八	五	三	八	三	二
一五九	五	九	三	三	二
三	一	一	一	一	二
一、一三四	三四	五五	二九	三四	五二

三四

第三 教會

本縣内ニアル教會ハ其ノ數四百三十二ニシテ神道三百七十八、佛教五十四、基督教三十四アリ何レモ相當ノ教徒又ハ信徒ヲ有シ各々其ノ教義ニ遵ヒ人心善導風教ノ振作ニ努メツ、アリ就中黒住、金光兩教ハ本縣ヲ以テ發祥ノ地トシ前者ハ文化十一年創立明治九年別派獨立其ノ徒全國ニ亘リ五十四萬ヲ越エ教會ノ本縣内ニアルモノ七十八ニシテ信徒三萬餘人アリ又金光教ハ明治三十三年初メテ獨立シタルモノニシテ其ノ徒全國ニ二百萬ヲ越エ巨萬ノ資ヲ費シテ建設シタル宏大ニシテ莊麗ナル敎殿ハ大正十四年烏有ニ歸シタルモ目下銳意復興ニ努力セルヲ以テ舊時ノ壯觀ヲ呈スル亦遠キニアラサルヘク祭日ニハ臨時列車ノ増發アリテ其ノ昇降ノ參拜者ハ數萬ヲ以テ數フルノ盛況ヲ呈シツ、アリ

神佛道教會所員數調

(昭和四年末現在)

郡市名	天理教	金光教	黒住教	神道教	大社教	扶桑教	神習教	御嶽教	禊教	神理教	眞宗	眞言	日蓮	法相宗	本門法	華宗	計
岡山	二四	六	一	一	一	二	一	二	一	六	一	一	八	一	一	一	五六
倉敷	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九
御津	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一五
赤氣	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二六
和氣	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一八
邑久	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二一
上道	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二七
兒島	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四〇
都窪	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
淺口	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
小田	一五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二五
後月	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二〇
吉備	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二〇
上房	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
川上	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
阿哲	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
眞庭	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
苦田	一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
計	二四	六	一	一	一	二	一	二	一	六	一	一	八	一	一	一	五六

三五

第一壯丁人員調

昭和四年ニ於ケル徴兵検査ハ甲乙二班ニ分チ縣下各都市ニ徴兵署ヲ設ケ甲班ハ四月十八日、乙班ハ五月三日ヨリ之ヲ開設シ甲班ハ七月三十一日、乙班ハ六月十七日検査ヲ終了セリ
抽籤徴兵署ハ八月十九日ヨリ同月二十九日迄ノ間岡山市ニ之ヲ設ケ各徵募區ノ抽籤ヲ執行セリ
壯丁ハ昭和四年徴兵適齡ノ者一萬四千六百六十四人前年徴兵終決處分ヲ爲スコトヲ得サリシ者二千四百十三人
合計一萬六千三百七人ニシテ之ヲ昭和三年ニ比レバ徴兵適齡者ニ於テ二百五十七人、前年徴兵終決處分ヲ爲スコトヲ得サリシ者ニ於テ七百二十七人合計九百八十四人ヲ増加セリ
右壯丁人員ヲ各徵募區都市別ニ掲記スレハ左ノ如シ

(昭和四年)

三九

合久英勝苦眞阿川上吉後小淺都兒上邑

計米田田田庭哲上房備月田口窪島道久

六、一五	五、四二	一、一八	七、四二	一、一七	一、〇三	四、九〇	七、六三	五、二一	五、八〇	五、六〇	九、一〇	八、一八	六、六四	五、〇四	五、八一	一、一六
五、九〇	一、八七	一、七九	一、一八	一、一八	九、二	六、三	三、五四	六、八	七、三	五、七	六、五	八、五	四、〇	三、二	五、九	一、一四
六、二四	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八

四〇

第二 令第七條志願調

兵役法施行令第七條ノ規定ニ依リ満十七歳以上徴兵適齡未滿ノ者ニシテ陸海軍現役兵ヲ志願シタル者百七十
三人内採用者百七人アリ、昭和三年ニ比シ志願者ニ於テ三十一人、採用者ニ於テ一人ヲ増加セシハ經濟界不
況ノ影響ニヨルモノアリト雖一面青年訓練ノ振興亦與テ力アリシモノト認ム
右志願者及採用、不採用者ノ人員ヲ本籍地郡市ニ區別スレハ左ノ如シ

本籍郡市別令第七條志願人員

(昭和四年)

郡市名	令第七條志願人員	甲種合格(採用者)	第一乙種	第二乙種	丙	種一丁	種
岡倉御赤和邑上兒都淺小後	一五七一	一	一	一	一	一	一
山敷津磐氣久道島窪口田月	一三八六	一	一	一	一	一	一

四一

柳病患者昭和四年ニ於テ二十三名増加セリ、即チ次ノ如シ

壯丁トラホーム、花柳病各郡市別患者調

川上吉後小淺都兒上邑和赤御倉岡	郡市名	
上房備月田口窪島道久氣磐津敷山	重症	ト
	中等症	ラ
	輕症	ホ
	計	ム
	受檢壯丁 ノ百分比	
	梅毒	花柳
	軟下橫症 麻疾諸病	
	計	病
	受檢壯丁 ノ百分比	

第六 所在不明ノ爲徵兵處分未濟者

所在不明ノ爲徴兵處分未済者ニ付テハ昭和三年ニ比シ縣下ヲ通シテ當年始メテ生シタル人員ニ於テ三名ヲ減
シ所在發見ノ上當年處分ヲ爲シタル人員ニ於テ百四十九名ヲ減ス其ノ詳細ヲ郡市ニ區別スレハ左ノ如シ

所在不明徵兵處分未濟者調

(昭和四年)

阿	哲	庭	田	田	米	山	計
三〇	二六	二四	五二	五一	四二	二三	九九八
一、一九〇	三一	二八	五九	五八	四六	二八	一、一九〇
六、三八	四、九五	五、〇九	九、四二	一二、〇三	九、〇七	一〇、〇四	九、〇一
一			二				一五
二	四	五	四	四	一〇	一	二四
二	五	六	六	五	一〇	四	一六〇
〇、七五	一、一三	〇、九六	一、〇四	一、九七	一、四三	一、二一	

[illegible]

浅田	小月	後備	上房	阿哲	眞庭	勝田	英田	久米	合計
一四	二七	一六	一四	九一	四四	四四	六四	五五	一五五
三	三	三	三	一	一	一	一	一	四三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	四四
三	一	二	二	一	一	一	一	一	一七
八	一	一	一	一	一	一	一	一	五〇
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第八 海軍志願兵検査成績

海軍思想ノ漸次普及セルト市町村當局ノ志願兵勧誘ニ銳意努力セルコトハ相俟テ逐年志願者ヲ増加スルニ至
 レリ中ニハ中等學校卒業者ニシテ進ンテ之ヲ志願スル者アリ一般ニ其ノ素質向上シツ、アルモノト認ム
 海軍志願兵検査成績 不合格者種別、採用者人員等各郡市別左ノ通り

海軍志願兵検査成績

(昭和四年)

郡市名	出願人員	内 検査不参又ハ 取消人員	受檢人員	受檢人員内 合格	不合格	合格者 前年歩合	合格者 本年歩合
岡山	五五	三	五二	八	四四	八八・八	一五・四
倉敷	九	一	八	三	五	六七・五	一〇・九
御津	二八	一	二七	五	二二	六七・五	一〇・九
赤磐	八	一	七	二	五	二八・六	一〇・九
和氣	一六	一	一五	二	一三	一三・一	一〇・九
上島	二五	一	二四	二	二二	一三・一	一〇・九
兒島	一六	一	一五	二	一三	一三・一	一〇・九
都窪	一四	一	一三	二	一一	一三・一	一〇・九
浅田	三	一	二	一	一	一三・一	一〇・九
小月	四	一	三	一	二	一三・一	一〇・九
後備	二八	一	二七	二	二五	一三・一	一〇・九
吉房	四	一	三	一	二	一三・一	一〇・九
上房	二一	一	二〇	一	一九	一三・一	一〇・九
阿哲	三〇	一	二九	一	二八	一三・一	一〇・九

三、年度末會員數及財産額

四、所屬分會ノ狀況

第六條 知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ補助金ノ交付ヲ受クル聯合分會ノ書類帳簿等ニ付検査ヲ行フコトアルヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在郷軍人聯合分會收支決算調

(昭和三年度)

聯合分會名	會員負擔金	市町村補助並一般寄附金	財産收入其他雑入	繰越金	國庫補助額	縣費補助金	合 計
岡 山	—	1、826、000	2、270	121、220	126、000	220、000	2、203、220
倉 敷	—	190、000	—	—	—	—	190、000
御 津	290、000	—	12、800	119、310	213、600	220、000	1、245、710
赤 磐	290、000	—	5、210	2、270	211、000	220、000	1、229、480
和 氣	288、000	110、000	1、200	22、600	190、000	220、000	1、031、800
上 久	115、000	200、000	20、000	218、000	225、000	220、000	1、110、000
邑 道	263、380	—	41、000	203、500	211、000	220、000	1、098、880
兒 島	192、000	292、110	211、200	22、900	225、000	220、000	1、063、210
都 窪	333、000	225、000	95、200	226、110	225、000	220、000	1、225、420
淺 口	226、900	—	105、000	22、500	225、000	220、000	1、000、900

支 出

小 後	192、500	212、000	10、200	23、800	201、000	220、000	1、049、500
吉 月	31、500	10、000	21、500	33、600	126、000	220、000	1、052、600
上 房	521、100	—	21、000	20、000	121、100	220、000	1、083、200
川 哲	140、000	140、000	3、900	191、600	121、600	220、000	1、097、100
阿 庭	200、000	200、000	14、000	368、800	194、600	220、000	1、227、400
眞 庭	222、000	120、000	20、700	228、200	200、000	220、000	1、093、100
勝 田	200、000	—	13、000	22、000	200、000	220、000	1、055、000
英 田	373、000	200、000	22、300	221、100	210、000	220、000	1、256、400
久 米	200、000	330、000	9、000	11、500	120、000	220、000	1、280、500
鐘 紡	118、500	149、000	100、200	123、700	130、000	220、000	1、041、400
津 山	217、000	45、900	21、200	22、900	225、000	220、000	1、062、000
合 計	2、221、200	5、125、900	1、268、110	22、820	2、225、600	5、000、000	22、853、630

聯合分會名	事務所費	會議費	事業費	各種團體負擔金	財産積立	繰越金	合 計
岡 山	—	24、200	1、211、110	206、200	—	26、210	2、447,510
倉 敷	—	—	—	—	—	—	—

[illegible]

五八

在鄉軍人會員數調

(昭和三年度末現在)

津山合計	一〇、八九〇 四、一六八、六二〇	五〇、二〇〇 二、六二、九四〇	四六四、二九〇 一七、一四八、七三〇	九六一、六七〇 —	四、一三〇 三〇三、〇六〇	— 一、八九六、一〇〇	六二九、五一 二六、五四一、一〇
------	---------------------	--------------------	-----------------------	--------------	------------------	----------------	---------------------

聯合分會名	正會員	分	名譽會員	特別會員	顧問	聯合分會	名譽會員	特別會員	顧問	計
岡倉御赤和邑上兒都淺小後吉	四、四四五	三二三	一〇〇	二二三	一	四、〇三三	二、五六三	三、〇二八	二、〇八四	二、五九二
山敷津磐氣久道島窪口田月備	二、四三五	一一二	一三三	四	三〇	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	二、七八四	八〇	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	一、九三二	一三三	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	三、一四三	八〇	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	二、六九九	五九	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	四、五八四	一三六	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	四、五一四	七二	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	五、〇一三	九七	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	四、三二八	一四二	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	二、一五〇	六六	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二
	二、八九七	一一八	五九	三七	二七	二、〇八四	三、二〇〇	二、七八五	四、八六二	四、六三二

五九

合	津	鐘	久	英	勝	苦	眞	阿	川	上
計	山	紡	米	田	田	庭	哲	上	房	
六、四、五五	一、一、一	四、八	二、一、一	一、八、三	一、八、三	二、一、一	二、一、一	二、一、一	二、一、一	二、一、一
二、五九七	一、九	七、九	六、三	一、九	一、九	一、七、三	一、七、三	一、七、三	一、七、三	一、七、三
一、七、三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、〇、三三	一、六	一、三	一、〇	四、三	四、三	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一
一、六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六、四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五、九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六、五、三七	一、二、一	五、七	二、一、〇	一、九、三	一、九、三	二、一、一	二、一、一	二、一、一	二、一、一	二、一、一

大〇

第四章 國 寶

國寶保存法ニ依リ國寶ニ指定セラレタル建築物、實物其ノ他ノ物件ハ建築物十四筆實物其ノ他ノ物件四十五筆計五十九筆ニシテ其ノ名稱、構造形式又ハ種類、品目及所在地所有者等左ノ如シ

國 寶 調

名 稱	構 造 形 式	所在地	社格宗名	所有者	備 考
吉備津神社 本殿及拜殿	本殿桁行正面五間、裡面七間、梁行八間、單層、屋根比翼入母屋造、檜皮葺、拜殿三間四面、重層、屋根切妻造、檜皮葺	吉備郡 眞金町	官幣中社	吉備津神社	明治三十五年內務省告示第二十六號指定
吉備津神社 南隨神門	八脚門、屋根入母屋造、本瓦葺	同	上同	上同	明治四十四年內務省告示第三十四號指定
吉備津神社 北隨神門	八脚門、屋根入母屋造、檜皮葺	同	上同	上同	大正二年內務省告示第二十四號指定
中山神社 本殿	桁行三間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、檜皮葺	苦田郡 一宮村	國幣中社	中山神社	大正三年文部省告示第八十五號指定
總社 本殿	桁行三間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、柿葺	津山市縣	社總	社同	同上

熊野神社本殿	一間社春日造、屋根檜皮葺	兒島郡 郷内村	郷	熊野神社	大正十年文部省告示 第三百五十二號指定
八幡神社本殿	桁行五間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、檜皮葺	上房郡 吉川村	縣	八幡神社	大正十四年文部省告示 第二百三十六號指定
長福寺塔婆 (三重塔)	三間三層塔婆、屋根柿葺 (現今下二重葺)	英田郡 福本村	眞言宗	長福寺	大正十年文部省告示 第三百五十二號指定
金山寺本堂	桁行五間、梁行六間、單層、屋根入母屋造、本瓦葺	御津郡 牧石村	天台宗	金山寺	大正十二年文部省告示 第二百十二號指定
本山寺本堂	桁行五間、梁行五間、單層、屋根四注造、柿葺	久米郡 吉岡村	天台宗	本山寺	同 上
遍照院塔婆 (二重塔)	三間三層塔婆、屋根本瓦葺	淺口郡 西阿知町	眞言宗	遍照院境内	大正十四年文部省告示 第二百三十六號指定
西明院外五ヶ院塔婆 (二重塔)	三間三層塔婆、屋根本瓦葺	和氣郡 香登町	眞言宗	西明院外五ヶ院境内	大正十五年文部省告示 第二百五十號指定
寶福寺塔婆 (三重塔)	三間三層塔婆、屋根初重二重本瓦葺 三重銅板葺	吉備郡 總社町	眞言宗	寶福寺境内	昭和二年文部省告示 第二百十八號指定
妙本寺鎮守堂	一間社流造、屋根柿葺	吉備郡 大和村	日蓮宗	妙本寺境内	同 上

寶物具ノ他物件之部

等級	種類	品目	所在地名	社格宗名	所有者	備考
甲種四等繪	畫	絹本着色如意輪觀音像	岡山市 國富	眞言宗	中藏院	明治三十四年內務省 告示第五十四號指定 (東京帝國博物館へ出陳)
同上		絹本着色地藏菩薩像	一幅 同		同	
同三等		紙本着色地獄繪卷	一卷 同		安住院	(同)
同上彫	刻	木造不動二童子像	三縣 眞庭郡 木山村	同	勇山寺	(同)
同		木造藥師如來坐像	一軀 同		同	
乙種書蹟	蹟	木造神號額(傳行成筆)	一 面 津山市 二 宮縣	社	高野神社	同
彫	刻	木造十一面觀音立像	一 軀 英田郡 林野町	眞言宗	安養寺	同
甲種四等繪	畫	絹本着色兩界曼荼羅圖	二 幅 同郡 福本村		長福寺	同
同上		絹本着色不動明王像	一幅 同		同	
同上		絹本着色十二天像 (傳僧呼筆)	十二幅 同		同	
彫	刻	木造十一面觀音立像	一 軀 同		同	

同	木造聖觀音立像	一軀	同	法界院同
甲種四等同	木造釋迦如來坐像 （延文三年十一 月ノ銘アリ）	一軀	和氣郡 伊部町	妙國寺同
丙種書蹟	紙本墨書四座講式 （高辨筆）	四卷	和氣郡 伊里村	真言宗 千手院同
甲種四等繪	絹本墨畫山水圖 （傳馬遠筆）	一幅	邑久郡 牛窓町	日蓮宗 本蓮寺同
丙種美術工藝	色々威甲冑	一領	同郡 今城村	社 北島神社同
彫刻	木造藥師如來坐像	一軀	同	天台宗 餘慶寺同
甲種三等繪	絹本着色佛涅槃圖	一幅	同郡 大宮村	真言宗 遍明院同
甲種四等同	絹本着色彌陀二十五 菩薩來迎圖	一幅	同	同 （同上）
丙種美術工藝	藍草肩白腹卷 （利根輪二傳足 利登氏奉納）	一領	同	同 （同上）
甲種四等繪	絹本着色不動三十三 童子左右兩界曼荼羅圖	三幅	同郡 鹿忍町	寶光寺同
同	上美術工藝 銅鏡	一口	上道郡 西大寺町	觀音院同
同	三等繪 畫	一卷	同郡 富山村	臨濟宗 曹源寺同
彫刻	木造毘沙門天立像	一軀	都窪郡 菅生村	真言宗 安養寺同
甲種四等同	木造吉祥天立像	一軀	同	同

同	上繪 畫	絹本着色愛染明王像	一幅	小田郡 三谷村	同	棒澤寺同
同	上同	絹本着色四所明神像	一幅	同	同	同
同	上同	絹本着色地藏菩薩像	一幅	同	同	同
同	上同	絹本着色愛染明王像	一幅	同	同	同
同	上同	絹本着色五大尊像	一幅	同	同	同
同	三等同	紙本着色佛涅槃圖像	一幅	小田郡 神島內村	同	自性院同
同	四等同	絹本着色地藏十王像	一幅	同郡 神島外村	同	日光寺同
同	上彫 刻	木造地藏菩薩立像	一軀	移月郡 高尾町	同	高山寺同
同	上同	木造不動明王坐像	一軀	同	同	同
同	上繪 畫	絹本着色地藏菩薩像	一幅	吉備郡 総社町	同	寶福寺同
同	上同	絹本着色十王像	十幅	同	同	同
同	上同	絹本着色釋迦三尊像	一幅	上房郡 高梁町	同	賴久寺同
同	上彫 刻	木造千手觀音兩脇土像 （銘并上直改延寶五年八月日 獨ヲ切ル）	三軀	阿蘇郡 豐永村	真言宗 三尾寺同	同
丙種刀	大刀拵絲卷太刀 （附池田綱政寄贈狀一通）	一口	御津郡 一宮村	國幣小社 吉備津彦神社	明治四十五年 丙午十一月號指定	同

丙	種	金石文	銅壺(下野國勝國依母夫人骨壺)一口 附墓誌斷片(左衛士府以下缺)一枚	小田郡 三谷村	眞言宗	國勝寺	大正六年文部省告示 第七十二號指定
甲種四等彫	刻	木造聖觀音立像	一軀	邑久郡 今城村	天台宗	餘慶寺	大正六年文部省告示 第七十七號指定
同	同	木造五智如來坐像	五軀	同郡 大宮村	眞言宗	遍明院	同
丙	種	刀 劔	大難刀 銘處光 指黑漆柄鐵刀	一口 同	同	同	大正十一年文部省告示 第三百六十八號指定 (大正十二年京極常室博 物館へ寄託許可)
同	上	刀	無銘傳守利池田空山寄進 附 寛文十年十月/折紙一通 寄進 目錄一通刀箱一個	一口 兒島郡 琴浦町	同	蓮臺寺	同(同上)
丙	種	同	大刀 銘國行	一口 津山市 庄縣	社	作樂神社	昭和四年文部省 告示第四百七十九號指定

昭和五年四月二十五日印刷
昭和五年四月三十日發行

岡山縣學務部

岡山市南方三三九

印刷者 國府武志

岡山市東中山下四〇

印刷所 中國民報社印刷部

14.4
1000

終

